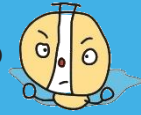


西成特区構想の「今ここ」をお伝えする News Letter

西成特区構想ニュースレター



vol.04

発行／令和3年10月11日 発行者／大阪市西成区役所総務課 〒557-8501 大阪市西成区岸里1-5-20

新今宮の空き店舗等を再生する改修事業者を再募集

1 新今宮Rプロジェクト

令和元年度から令和3年度まで、新今宮駅南側一帯ににぎわいや魅力を生み出す仕掛けづくりとして「新今宮Rプロジェクト」を実施しています。

にぎわいや魅力をうみだす
仕掛けづくり

Shin-Imamiya R Project

(プロジェクトのロゴマーク)

プロジェクトでは、地域イベントと並行して、空き店舗などを改修してインバウンドへの案内機能を持つ施設や旅行者の交流拠点などに再生する改修を支援し、エリア一帯の活性化を促進するために、改修費用の一部補助を行う補助事業を実施しています。



(参考) 案内機能を持つ施設のイメージ：
西成産品のアンテナショップ

補助内容は、耐震や内装、水回り改修のほか、看板設置、ネット回線整備に必要な改修等が対象となります。令和3年9月6日からは、申請期限を12月27日まで延長するとともに、随時審査できるよう制度を見直して、改修事業者を再募集しています。



(再募集の詳細については
西成区ホームページへ)

**【再募集】西成区
空き店舗等再生改修補助**

申請期間：12月27日(月)まで



令和3年度も、新今宮駅南側一帯に新たなにぎわいを創出するよう、空き店舗等の再生のモデルとなる事業の改修工事費用等の一部補助を行います！

2 新今宮の魅力向上と まちの活性化に向けて

西成区は、①区内の魅力が一般的に知られていないことや、店舗や施設等を観光ルートとして活かされていない、②空きビルや空き店舗、遊休地などのストックを活かせていない、③来訪者の増加に対応できる拠点が不足している状況です。しかし、新今宮では、補助事業を活用した改修には繋がっていないものの、空き店舗活用してイベントのインフォメーションセンターに活用し、にぎわいを生み出そうとする機運は高まっています。周辺の飲食店や宿泊施設などは、テレビや雑誌などでも魅力的に取り上げられるようになっていきます。



(参考) 案内機能を持つ施設のイメージ：
インフォメーションセンター

新今宮駅南側で地域イベントを開催したことによって、地域主体で取り組む機運が盛り上がってきました。これまで繋がりがなかった既存店舗による新たなイベントの取り組みや、まちづくりの話し合いが店主同士で行われるなど、ゆるやかな連携や、

ネットワークが構築されつつあります。



(新今宮フェスティバル)

3 空き店舗再生の機運を エリア全体へ

新型コロナウイルスの影響でインバウンド客が途絶えたこともあり、街のにぎわいが一時的に縮小してはいますが、閑空や主要な駅への起点となる新今宮駅に近い利便性の良さや、新今宮駅の北側において大規模な宿泊施設の開業が予定されている状況を鑑みると、今後、以前よりもさらなる来訪者の増加が見込まれます。大阪市では、地域住民や駅利用者、来訪者、労働者などエリア内の多様な人々の回遊・周遊につなげるような提案を期待しており、補助事業に採択された場合は、改修費用の補助だけでなく、大阪市西成区役所の広報誌やホームページ等で情報発信するなど、採択された再生事例の情報をエリア全体に広げ、将来のまちの活性化に向けて、空き店舗再生の機運の醸成と新たなにぎわいを促進していきます。

エリアリノベーションと西成特区構想

あいりん地域では、1990年代から日雇市場が縮小するなかで、2005年から数件の簡易宿所が外国人バックパッカーを呼び込む取り組みを始めた事により、外国人旅行者の宿泊実績が飛躍的に増加しました。このようにいくつかの既存施設を、良好な立地条件と簡易宿所が集積している利点を活かした新たな用途に再生することにより、あいりん地域に活気を取り戻すとともに、西成区全体の課題解決につなげていくことをめざしています。

西成特区構想のセンターピンは
あいりん地域の諸課題



西成区ホームページ
NewsLetter

